

クラス番号	345	担当教員名	児玉 善郎
テーマ	福祉住環境－誰もが安心して暮らす上での住環境の現状と課題		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書】『居住福祉学』（共著）有斐閣、『住まいの論理』（共編著）嵯峨野書院、『社会福祉・医療従事者のための災害福祉論』（共著）学文社</p> <p>【論文】「東日本大震災被災地の災害公営住宅における住民支え合いの取り組みと今後の課題」『都市住宅学』、「住宅確保要配慮者への居住支援を行う居住支援協議会に対する自治体の支援と実際の課題」『地域ケアリング』、「都市計画と住民参加」『都市問題』</p> <p>【研究課題】生活困窮者の居住支援方策／高齢化・孤立化の進む地域の住民支え合い／ユニバーサルデザインのまちづくり</p>		

ゼミナール概要

キーワード：福祉住環境、ユニバーサルデザイン、高齢者向け住宅、施設の住環境、居住支援、住民支え合い

目的、内容、方法等：

誰もが安心して毎日の暮らしを送る上では、生活の基盤となる住環境が整っていることが重要な要素です。

本ゼミナールでは、高齢者・障害者をはじめ子どもから大人まで、すべての人が安心して暮らすことを支える住居、施設やまちの環境等の住環境について、現状の問題・課題を探るとともに、その改善方策について検討します。

誰もが安心して暮らす住環境の問題・課題について、文献・資料やフィールドワークによる実地調査により具体的に把握します。その際に、住居、施設や道路・交通機関等の建築・都市構造物のハードな物理的環境の問題・課題を探るとともに、それらの環境のもとで営まれている生活に関わる家族環境、地域コミュニティ、生活を支えるサービスなどソフトな要因との関係についても検討します。

対象とする福祉住環境の要素としては、住居、入所施設、病院、通所施設、道路・交通機関、公園、公共施設、生活利便施設（店舗、娯楽施設等）など、私たちの暮らしに関わる環境要素を幅広く捉えて検討します。

授業計画：

<3年次ゼミ>：福祉住環境の要素である住居、施設、道路・交通機関等について、誰もが安全に利用して生活することができるかという視点から、現状の問題・課題を文献、統計資料や既存研究論文等を調べ整理することにより、基礎的な認識を深めます。さらに、国内や海外における福祉住環境に関する先進的な取り組み事例についても文献等により調べて学びます。その上で、いくつかのグループに分かれて、グループ研究を行います。福祉住環境の要素の中で問題・課題を明らかにしたいテーマを設定し、そのテーマに絞った詳細な文献調査を行った上で、フィールドワークによる実地調査を行い、それらの結果をグループとしてレポートにまとめます。各グループがまとめたレポートをゼミで発表し、討論を行うことにより、福祉住環境についての理解と認識を深めます。

<4年次ゼミ>：3年次に行ったグループ研究の経験を踏まえて、ゼミ生一人ひとりが、卒業論文の研究テーマを設定し、テーマに応じた調査研究を企画、実施します。得られた結果について分析、考察を行い、論文を執筆します。研究テーマの設定、調査研究の企画、調査の実施、結果の分析・考察、論文の執筆等の各段階において、一人ひとりが毎回のゼミで報告・発表し、質疑・討論・指導を受けることで、論文の質を高めて完成させます。

担当教員からのメッセージ



専門演習ゼミにおける2年間において、ゼミの仲間やゼミ担当教員との交流を深めながら、主体的に学ぶことにより、ゼミに所属した皆さんにとって有意義かつ貴重な経験になることを願っています。その為にも、ゼミに無断で遅刻や欠席することなく、ゼミの仲間と一致団結して、ゼミ活動に積極的に参加して雰囲気盛り上げて欲しいと思います。社会福祉士等の資格取得を目指す学生は、ゼミの仲間との合同学習を行うなど、お互いに切磋琢磨して試験合格を目指して欲しいと思います。ゼミ担当教員として、資格取得に向けた支援、就職活動の相談・支援も適宜行っていきたく思います。